

令和5年度 不安への対処力を養う「勇者の旅」プログラム
eラーニング版実践校募集要項

令和 5年 1月 24日

千葉大学子どもこころの発達教育研究センター長決定

1 趣旨

千葉大学子どもこころの発達教育研究センターでは、子どもの「不安」への対処力向上を目指し、学校の授業で行うことのできる「勇者の旅」プログラムを開発、その効果検証と普及に向けた取り組みを行ってまいりました。全国の多くの学校様のご協力により、プログラムの効果が示され、また、各地でプログラムの定着化が進んでいます。

一方、長年の取り組みの中で授業時間の確保が難しい、その他の教科と性格が異なるため指導が難しいと感じる教師もいるなどの課題も見えてまいりました。また、ギガ・スクール構想やコロナ禍を経て大きく変わった教育環境に対応することも新たな課題となっています。そこで当センターでは、児童生徒がパソコンやタブレットを用いて動画で学ぶ、「勇者の旅」プログラムのeラーニング版を開発しました。

この度は、新たに開発された「勇者の旅」eラーニング版を学校の授業（※）で実践し、児童生徒および先生方対象のアンケートにご協力いただける実践校を数校募集いたします。学校の授業で児童生徒が一人一台端末を用いて学習する方式での取り組み（研究）は初めてとなるため、今回はその効果の検証のみならず、どのような運用が適しているのかについての知見が得られることも期待しております。

※ eラーニング版の場合、正規の授業時間以外の時間を充てることも可能です（例：朝学活など）

2 「勇者の旅」eラーニングプログラムについて

- ・eラーニング版「勇者の旅」プログラムは、プロローグが1つ+9つのステージで構成されています（45～50分の授業×10回分）。各ステージは、動画を見ながら手書きのワークブックに答えや自分の考えを記入する形で展開されます。
- ・プログラムは、総合的な学習の時間、学活、道徳、保健等の授業時間に実施いただくことを基本としていますが、eラーニングの利点を活かし、朝の短学活や放課後活動などの時間を使って実施することも可能です。ただし、任意の活動とするなど、児童生徒の学習状況を把握できない枠組みで実施することはできません。（事前のヒアリングの際、具体的な実施方法についてはご相談いただけます。）
- ・プログラムの教示はeラーニングの動画コンテンツによって行われますが、ワークに取り組む際のサポートや質問への対応、タイムマネジメントなど、担任教師が指導者として授業を主導することを想定しています。
- ・指導者は当該学級の担任を基本としますが、養護教諭等校内の他の教員とのTTも可能です。（T1の指導者は、指導者養成研修の事前受講が必要となります。）

※eラーニング版は、朝の短学活や放課後活動の時間、家庭学習や夏季冬季休暇中の宿題など、従来使用できなかった時間を活用して「勇者の旅」を導入することができます。一方で、学習の進度が個人により異なってくるため、学習中に生徒同士が交流するような授業展開には向かない側面がございます。

3 募集対象／募集条件

- (1) 小学校または中学校 1～3校または1自治体
- (2) プログラム実践学年 小学校5、6年生、または中学校1年生

- (3) 協力期間 1年間
 - (4) 指導者(授業実施者)が事前に指導者養成研修を受講できること(または受講済み)
 - (5) 児童生徒1人1台の端末及び、接続可能な校内LANが整備されていること
 - (6) 実践に際し事前の環境確認や運用計画を千葉大学と協働して行うことができること
 - (7) アンケートへの回答のみに協力いただけるクラス(対照群)をあせて用意できることが望ましい(同一学校の他学年や、同一自治体他校の同学年など)
- ※全てのアンケート(研究)終了後、対照群にも「勇者の旅」eラーニング版の提供が可能です。対照群はプログラムを受けられない、というわけではありません。

4 応募方法/決定方法

ご応募の際は千葉大学子どもこころの発達教育研究センター宛に応募票を提出してください。実践にはネットワーク環境の事前確認や、学校の運用計画に合わせたシステムの事前設定(カスタマイズ)が必要になるため、2月1日以降随時、担当者よりヒアリングのご連絡をさせていただきます。

事前確認の結果ネットワーク環境に問題がなく、運用計画がシステム上実現可能なものと判断された学校から、順次、令和5年度実践校を決定します。なお、本募集は3月31日(金)まで応募可能ですが、定員に達し次第締め切ります。

5 実践校の協力内容

(1) アンケートの実施

- 児童生徒用アンケートはeラーニングプログラムの中に組み込まれています。アンケートを実施するための事前準備は必要ありませんが、初回のアンケートには時間を要する場合がありますため、実施時間の確保をお願いします。(初回の授業時間の前に、アンケート回答の時間を別に設けても構いません)
- アンケートは学習開始前(開始時)、学習終了時、学習終了3ヶ月後の計3回実施いただきます。3回目のアンケートまで含めて原則、令和5年度中の実施をお願いします。

(2) 指導者養成研修未受講者への対応

- eラーニング版も、プログラムの指導者は指導者養成研修を修了する必要があります。未受講者は、千葉大学子どもこころの発達教育研究センターが主催する1日6時間の指導者養成研修(オンライン)を受講していただきます。
(eラーニング版専用の研修ではないため、過去に受講済みであれば不要)
- 研修は、週末または夏季・冬季休業中に開催します。
(直近では令和5年5月13日(土)の開催を予定しています)

(4) 環境整備/運用計画

- 本研究に係るシステム設定(カスタマイズ)費用やシステム利用料、および指導者養成研修の受講料や児童生徒用教材(ワークブック)費は全て大学が負担します。
- ただし、授業で使用する児童生徒用端末やイヤホン等周辺機器、校内のネットワーク環境、通信費等の用意・負担はできません。また、補足資料等を印刷する場合の印刷費も学校様負担となります。
- eラーニングの動画再生には大きなデータ通信が必要となります。児童生徒が学外からWi-Fiのない環境で受講する可能性がある場合は、通信費にご注意ください。